

「エクサバリューフォーラム特集」発刊によせて



取締役 技術推進部門担当 草川浩好

エクサバリューフォーラムは2006年7月に5回目を開催し、参加者、講演内容共に充実してきた感を強く持っています。技術者が一同に会し、各人の経験や調査研究などを元に直接技術論を論じることのできるフォーラムへと発展してきたといえます。情報共有による生産性の向上・容易な情報検索ができる環境整備・高品質短期間開発への対応などが叫ばれている今日ですが、技術者同士が直接話し合いを持つ機会はこの面からも重要と考えます。一方、担当するプロジェクトの都合で参加できなかった社員も多く、真の情報共有のためには別の手段での情報提供が必要で、イントラへの掲載などで対応を行ってきました。

また、当社のプロフェッショナル制度も昨年の第1号の誕生から一年間で20名のプロが誕生し、この制度も徐々に社員に理解が深まりつつあります。プロにとっては、プロジェクトの中で自らの力を見せ、多くの社員からの目標となることも肝要ですが、自らのスキルや経験を論文や社外講演を通じて多くの方に知っていただくことも重要です。

技術者の真の力を評価するのは自分自身ではなく、仕事を通じて直接接したお客様やプロジェクトメンバーです。この面からも自らの考えや構想を多くの方に対し発表し評価いただくフォーラムや論文集はこれらの良い活動の場として位置付けています。

今回は、エクサバリューフォーラムの中から、論文の題材となる内容を選び、内容を一部見直し執筆したものとなっております。

この特集号が読者にとって、実際のプロジェクトで役立つ内容となり、また自らの経験と比較してヒントを与える場となることを期待しております。